

令和2年度 第1回 印西市社会教育委員会議 要旨

- 1 開催日時 令和2年7月10日（金）
午後2時から午後4時まで
- 2 開催場所 印西市役所別館 1階 農業委員会会議室
- 3 出席委員 伊東委員、篠塚委員、浅田委員、恩田委員、川村委員、
三城委員、河村委員、菊地委員、桜井委員、小林委員、
松崎委員、篠原委員、石川委員
- 4 欠席委員 二宮委員、小岩委員、平石委員
- 5 事務局の出席 鈴木課長、清水係長、唐澤係長、山崎
- 6 内容 議事
(1) 令和2年度事業計画について
ア 社会教育・生涯学習関連事業について
イ 文化・芸術関連事業について
(2) 成年年齢引き下げ後の成人記念式典について
- 7 会議要旨

報告事項（1）社会教育関係団体の情報交換会について

川村委員 昨年度、社会教育関係団体から聞き取り調査を行った。7団体からの調査の結果、情報交換会の参加については、6団体が参加したい、であった。その理由については大きく4つ。

- 1 高齢化や、メンバーの固定化、減少等の問題がある。情報交換会を通じて、新しい人員の発掘について情報を共有したい。
- 2 イベントを行う上での募集や広報の方法。
- 3 活動資金の確保の方法。
- 4 活動の内容がマンネリ化している。新しい内容を取り入れるにあたって、情報交換会を活用したい。

以上の内容で、情報交換会を行ってはどうかと考えているが、その開催方法が問題である。情報交換会を2回、3回と続けていくためには、1回目が肝心となる。しかし、新型コロナウイルスの影響もあり、開催時期に関しては難しいものがある。開催に関して体制を十分に整えたうえで、いつでも開催できるようにしておくことが必要である。開催の方法について、例えば、各団体が発表する形式であれば、30分では全体で時間がかかりすぎ、10分では短すぎるため、各団体の状況が伝わらない。そこで、伝え方、方法、時間配分等、団体に一任ではなく、ある程度のフォーマットをこちらで設定しなくては、実施は難しいのではないかと。

もう少し時間があれば、困っている団体同士をマッチングしたりといったこともできるのではないかと。

今後、議論し、企画していきたい。

桜井議長

聞き取り調査は、3日間かけて行った。情報交換会については、市民のために行ってはどうかと社会教育委員から意見を出したものであるが、実際に団体側でどう考えているか確認したく、このような調査を行った。結果、ほとんどの団体で実施してほしいという要望が強かった。三角であった団体についても、同様の歴史を研究している団体間だけで実施したく、行政で調整してもらいたい。他の団体とまで一緒に行く必要性は感じないという回答であった。

実施してほしいという要望が多いため、事務局にぜひ検討を進めて実施していただきたい。社会教育委員として、教育委員会には要望している。社会教育委員として、市民のために何か有益なことができないかと検討した結果である。新型コロナウイルスの影響もあり、難しいところもあるであろうが、実施に向けて計画していただくようお願いする。

事務局

各団体がどのような活動をしているかわからないという話もあったため、団体照会シートに記入していただき、冊子を作成したいと考えている。照会シートの記入依頼と同時にアンケートを実施し、各団体の問題点や情報交換会についての参加の有無、運営における工夫等を確認し、開催方法を含めて検討していきたい。

うまくマッチングができ、活動に結びついたという事例もあるとのことであったため、その事例発表をしていただいたり、活動において工夫している点を発表していただくといった方法もあるのではないかと考えている。

桜井議長

方法については私たちも協力していきたい。アンケートについては、市民活動推進課でも行っているとのことであるため、調整の上、内容が重ならないようにしていただきたい。

議事（1）令和2年度事業計画について

事務局

事業について説明

小林委員

新型コロナウイルス感染症拡大により、事業ができなくなるものもあるようであるが、予算の組み換えを行う考えはあるか。また、事業に関して、新型コロナウイルスが影響しないような内容のものに変更する予定はあるか。

事務局

例えば市民アカデミーに関しては、一日で完結する内容で開催するなど、可能な方法を考えながら行っていきたい。

予算に関しては、事業ができない以上、余ってしまうことはあり得る。例えば、成人式などは従来とは異なる方法で開催するため、当初予算では不足する場合もある。その場合は、補正予算を組むなど、対応していきたい。

- 河村委員 文化祭以外にオンラインで行う事業はあるか。
- 事務局 推進係に関しては、現状オンラインで行う事業はない。順天堂大学で行っている公開講座に関して、例年集まってスポーツ教室を行っているが、これをオンラインを利用し、家庭でできる運動講座などができないか相談しながら検討していきたい。
- 河村委員 オンラインに限らず、できることを検討してしてもらいたい。
- 事務局 緊急事態宣言時、図書館等市内施設が休館している間、検討を行った。なかなか実行するまでは進められていないが、市ホームページに学習コンテンツのリンクを張ることや、在宅での読書環境など引き続き検討していきたい。今後、第2波、第3波に備え、事務局としても対策を講じていきたい。
- 桜井議長 オンライン文化祭について、具体的にどのような形で実施する予定か。
- 事務局 個人や団体が作成した文化・芸術作品をデジタル画像で保存したデータで募集する。募集したデータを使って生涯学習課でスライドショーを作成し、ホームページに掲載することを考えている。合唱やダンスなど動画の相談もあるかと思うが、アップロードできるデータ量に限りがあるため、相談しながら検討していきたい。
- 桜井議長 市民はホームページにアクセスして、開催状況を見るということによろしいか。
- 事務局 その通りである。
- 桜井議長 ホームページについて、なかなか目的のページにたどり着けない。トップページからすぐに目的のページにたどり着けるようにできないか。
- 事務局 検討する。
- 伊東委員 文化財の活用、民具の収集と公開事業について。小学校では3年生を対象に昔の道具などについて学習している。学校の学習に役立てるとのことであるが、どのような道具を収集しているのか。
- 事務局 昭和20年頃のものと思われる農機具、大八車等、電気を使う前の道具などを収集している。
- 伊東委員 収集場所は大森か。
- 事務局 合併の関係により、分散して保管している。民具は概ね旧宗像小付近にある

印旛歴史民俗資料館に保管している。一部は大森に保管している。見学が可能なのは、印旛歴史民俗資料館であり、職員も勤務している。

伊東委員 講師の派遣も可能か。

事務局 出前講座で可能かもしれない。詳細は相談してもらいたい。

桜井議長 資料は個人から提供があるのか。それとも展示してもらいたいといった要望があるのか。

事務局 基本的には市民からの情報提供による。現地を確認し、寄贈していただくこともある。

桜井議長 子どもをはじめとする次世代の育成の中の、芸術文化活動を支える人材の育成の推進に関して、文化芸術の人材を育成するには年数や技能を要すると考えるが、要望があってから支援を行うのか。それとも、市として計画をもって、特定の年代に対して、何らかの支援をしていくのか。

事務局 現在は芸術文化協会に補助金を交付し、加盟している団体の活動を支援している。また、本年度は実施できないが、市民文化祭での体験部門を通して、文化芸術の活動の場や、PRの機会を提供するなどしていきたい。

桜井議長 要望があって、支援をしていくということによろしいか。

事務局 その通りである。

三城委員 芸術文化協会として、人材は豊富であり、国内でも有数の方もいる。そういった方々を顕在化していき、活動していけるように検討しているところである。人材の発掘に関しても進めていきたいと考えている。

桜井議長 こども110番の役割等をホームページに掲載するとのことであるが、これは、前回の会議での意見を取り入れてもらえたものであろう。繰り返しになるが、ホームページに関して、情報にアクセスしやすいように構成していただきたい。
本年度の事業について、計画通りの実施をお願いする。特に、リーディング施策に重点を置いて実施していただきたい。新型コロナウイルスの影響から、中止・延期となるものもあろうかと思うが、よろしく願いたい。

議事（2）成年年齢引き下げ後の成人記念式典について

事務局 事務局から説明

- 河村委員 18歳が良いとする理由があればお聞きしたい。
- 事務局 自由意見の中には18歳が良いとする理由はなかった。20%は18歳が良いという回答があった。
- 小林委員 20歳は大学2年目、就職して1、2年目となる。この年代に成人式を行うことが適切かどうかは議論があるかもしれない。しかし、18歳は受験を控えていることもあり、この時期にこういった行事を持ってくるのは反対である。
- 桜井議長 18歳となり大きく変わるのは選挙権もある。テレビなどで18歳を対象として模擬選挙などを行っている例も見るが、印旛明誠高等学校ではいかがか。
- 浅田委員 主権者教育を高校のうちに行うということで話もある。4月からの赴任となるが、現在報告を受けている限りでは、市の選挙管理委員会から機材等を借りて実施しているということは聞いていないが、一般的に、公立中学校、高校で実施している学校が増えている。
- 桜井議長 20歳で例年通りの実施ということによりよろしくお願いしたい。

以上

使用した資料

令和2年度 第1回 印西市社会教育委員会議 資料

令和2年度 第1回 印西市社会教育委員会議の会議録は、事実と相違ないので、当会は、これを承認する。

令和2年8月5日

印西市社会教育委員会議

署名委員 石川 久美子
